

(限 内 部)

0399

# 海軍公報

(部内限) 第二千七百五十二號

海軍大臣官房

昭和十二年十月二十九日(金)

## ○令 達

官房第三〇六號ノ一〇

軍艦陸奥ヨリ陸揚ノ艦載水雷艇一隻ヲ雜役船ニ編入シ  
船種、公稱番號、所屬等ヲ左ノ通定ム

昭和十二年十月二十九日

海軍大臣

船種	公稱番號	所屬	定數別記	事
交通船 (水雷艇型)	第九三號	海軍兵學校	臨時 附屬	軍艦陸奥ヨリ陸揚 ノモノ

## ○通 牒

人秘第五一號ノ二

昭和十二年十月二十九日

海軍省人事局長

各廳長殿

### 功績概見表ニ關スル件通牒

支那事變ニ關スル功績調査資料トシテ左記ニ據リ支那  
事變第一回功績概見表ヲ調製シ來十一月三十日迄ニ到  
達スル様所屬長官經由進達相成度依命

追テ功績調査ヲ正式ニ示達セラルル際ニハ更ニ爾後  
ノ功績ニ就テ追加提出セシメラルル管

### 一、期 間

自昭和十二年七月七日 至同年十月十九日

### 二、様式及添付書類

昭和十二年九月九日人秘第五一號中第三ニ依ル  
但シ「所轄功績概見表」ヲ「廳名支那事變第一回  
功績概見表」トス

### 經線第三號ノ三〇八

昭和十二年十月二十九日

海軍省經理局長

各廳長殿

海軍公報(部内限) 第二千七百五十二號

昭和十二年十月二十九日

二〇五五

海軍公報(部内報) 第三千七百五十三號 昭和十二年十月十九日

外國爲替管理ニ關スル件通牒

首題ノ件ニ關シ別紙ノ通大藏省爲替局長ヨリ通牒有之候  
別紙  
藏爲第四四九五號

昭和十二年十月十九日

大藏省爲替局長 上山英三

海軍省經理局長 村土春一殿

官吏等ガ官命ニ依ル海外旅行ニ際シ官廳ヨリ支給ヲ受ケタル旅費其ノ他ノ給與ノミヲ携帶スル爲信用狀ヲ取得スルトキハ昭和八年大藏省命第七號外國爲替管理法ニ基ク命令ノ件第十一條第五號ニ該當シ許可ヲ要セザルモ右官廳ヨリ支給ヲ受ケタル旅費其ノ他ノ給與ノ外ニ私費ヲ併セ五千圓相當額ヲ超ユル旅費ヲ携帶スル爲信用狀ヲ取得シ又ハ送金爲替ノ買入ヲ爲ス場合ハ同令第四條第七號並同令第十一條第四號及第五號ノ規定ノ趣旨ニ鑑ミ許可ヲ要スル取扱ニ付貴省所屬官吏等ニ對シ外國旅費ヲ支給サル際ハ右徹底方可能御取計相願度此段及依頼候

○ 辭 令

筆 生 堀 江 久

上海へ出張ヲ命ス(計部海軍省) 能登 清久  
海軍少佐  
海軍省軍務局

○ 雜 一 款

○ 將旗移揚ニ付武官武官日人海軍省ニ移揚シ  
佐世保警備隊司令官ハ昨二十八日將旗ヲ朝潮ヨリ金剛ニ移揚セリ

○ 郵便物發送先

軍艦球磨宛  
佐世保郵便局氣付

自今 海軍省ニ對シ  
海軍省ニ對シ  
海軍省ニ對シ

第三十二號

海軍大臣官報

昭和十二年十月十九日

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十月二十九日午前十時調

【横須賀】 對馬▲、愛宕▲、那珂▲、阿武隈▲、大鯨▲

▽八雲、▽山城、春日

沖風▲、峯風▲、▽羽風、秋風

伊二▲

富士▲、尻矢、膠州

(鈴谷)、(劍崎)▲、(高崎)▲

【長浦】 太刀風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五八、呂五九▲、伊七、▽伊二四、伊二三

【館山】 澤風▲

▽神風、野風、波風、沼風、帆風▲

【大湊】 大泊▲

矢矧、韓崎▲、比叡▲、最上▲、扶桑、▽伊勢、衣笠、青葉、長鯨

夕顔、▽薄、萬、矢風

呂五一▲、呂五三▲、呂二六▲、呂二七▲

呂二八▲、伊五一、伊七一、▽呂三三、呂三四、▽伊五三、伊五四、▽伊五七、伊五六、伊五八、▽伊二二、伊二一、伊五五

伊五五

伊五五

伊五五

伊五五

伊五五

(蒼龍)▲、(千歲)▲

伊五五

【大阪】 古鷹▲

(滿潮)▲、(山雲)▲

【神戸】 ▽伊七二、伊七三▲

(熊野)▲、(荒潮)▲、(伊八)▲、(伊七五)▲

【相生】 石廊▲

【因島】 藤▲

【江田内】 平戸、淺間

【舞鶴】 吾妻▲

▽東雲▲、叢雲▲、薄雲▲、白雲▲

伊五二

(大潮)▲

【佐世保】 赤城▲、加古▲、長良、金剛、磐手、▽常磐、鳳翔、淀、名取、▽加賀

梨▲、竹▲、榎▲、桃▲、柳▲、檜▲、葦▲、▽蓬▲、▽夕風、朝風、▽文月、水無月、長月、早月、▽島風、夕風、卯月▲、▽時雨、白露、▽山風、海風、江風、涼風、▽朝潮

呂三〇▲、呂三一▲、呂三二▲、呂六〇▲

呂六一▲、呂六二▲、呂六四、▽呂六三、呂六八、▽伊五九、伊六〇、伊六三、▽呂六七、呂六五、呂六六

敷島▲、鳴戸、鶴見、佐多、早鞆、知床

(夏雲)▲、(伊七四)▲

伊五二

伊五二

伊五二

伊五二

伊五二

伊五二

伊五二

伊五二

伊五二

伊五二

伊五二

伊五二

伊五二

伊五二

【基隆】 漣

襟裳

【鎮海】 葦、楡

【ボナベ】 洲崎

【作業地】 口出雲、嚴島、安宅、八重山、嵯峨、鳥羽、

勢多、壘田、比良、保津、熱海、二見、

駒橋、白鷹、沖島、北上、妙高、多摩、

口足柄、天龍、龍田、木曾、夕張、

能登呂、神威、由良、鬼怒、龍驤、高雄、

摩耶、鳥海、羽黒、那智、神通、迅鯨、

勝力、川内、大井

栗、梅、迷、望月、菊月、夕月、三日月、

響、雷、電、初雪、吹雪、白雪、口曉、

狭霧、吳竹、早苗、芙蓉、刈萱、朝顔、

疾風、追風、菊、萩、葵、松風、朝風、

旗風、春風、臘、曙、潮、天霧、夕霧、

朝霧、綾波、浦波、磯波、敷波、夕立、

村雨、五月雨、春雨、有明、夕暮、初霜、

子日、若葉、初春、彌生、睦月、如月、

汐風、灘風、柿

伊六八、伊六九、伊七〇、伊六一、

伊六二、伊六四、伊六五、伊六六、

伊六七

口鴻、隼、鵠、鴨、千鳥、初雁、友鶴、真鶴、

口雉、鷺、雁、鳩

【航海中】

球磨 (二十八日吳發—佐世保—)

口陸奥、長門、日向 (二十八日有明灣發—楠灣—)

口霧島、榛名 (二十八日有明灣發—八代海—)

口五十鈴、伊一、伊三、伊六、伊四、伊五 (二

十八日有明灣發—寺島水道—)

口掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、

掃一六、掃一四、掃一三、掃一五、掃一七、

掃一八 朝日、室戸、間宮、隱戸、野島

(辭令公報添)

0403

(限 内 部)

海軍公報(部内限)號外

○ 令 達

官房第五四六三號

艦營需品定額表中數量ヲ左ノ通改正ス

昭和十二年十月二十八日

工 作 長 主 管 金 工 之 部 備 品

海 軍 大 臣

昭和十二年十月二十九日(金)  
海軍大臣官房

艦船部隊名	類 別	番 號	品 名	數 稱	戰艦、練習戰艦	
					一 等 巡 洋 艦	二 等 巡 洋 艦
金工錐甲大	一	七三	金工錐甲大	個	八	一六
金工錐甲小	一	"	金工錐甲小	個	八	一六
記 事						

海軍公報(部内限)號外

備防	部	港	要	海	艦務特					海	敷	艦母水潜		水	航
					劍崎、高崎	攝津、敷島、朝日	洲崎、間宮、大泊、膠州	石廊、隱戸、早鞆、野島	尻矢、鳴戸、室戸			知床、襟裳、佐多、鶴見	大鯨		
馬公、鎮海、舞鶴	舞要港務部	旅順	大湊、馬公、鎮海、舞要軍需部	兵團	一六	四	八	八	八	一六	八	一三	一六	二四	

一、上記數量ハ工作長主管木工ノ部ニ供給スルモノトス  
 (イ) 本數量ハ他主管欄數量ニ加ヘ合計欄數量ハ合算スルモノトス  
 (ロ) 本數量ハ他主管ニ供給スル備品内譯中工作長木工欄數量ニ加ヘ合計欄數量ハ合算スルモノトス

0405

第三艦隊司令部 (漢口海軍宿舍)	砲艦	上海海軍特別陸戰隊	臨時海軍防備隊	隊					航	空	隊		
	二	四	六	五六	二七六	二〇〇	一五二	九六	七六	六八	四〇	三〇	二〇
二、本數量ハ本主管欄數量ニ加ヘ合計欄數量ハ 合算スルモノトス													

海軍公報 (部内限) 號外

工作長 主管 木工之部

三

0406

海軍公報 (部内限) 號外

四

工作長主管金工之部ヨリ供給ヲ受クル備品金工錐甲大、金工錐甲小數量ハ本號中工作長主管金工之部ヨリ工作長主管木工之部へ供給スル數量ニ同シ



0407

(限 内 部)

# 海軍公報

(部内限) 第二千七百五十三號

昭和十二年十月三十日(土)

海軍大臣官房

## ○令 達

官房機密第四四七四號  
特設艦船ニ對スル修理用材料ノ供給ニ關シ左ノ通定ム

昭和十二年十月三十日

海 軍 大 臣

- 一 支那事變中海軍工廠長又ハ海軍航空廠長ハ徵備特設艦船(特設運送船、特設病院船及鎮守府又ハ要港部ノ徵備船舶ヲ除ク)ニ對シ契約ニ依リ官ニ於テ施行スル船體、機關及兵器ノ修理用材料ヲ供給スルコトヲ得
- 二 修理用材料ハ臨時軍事費海軍臨時軍事費造船兵及修理費令示額中ヨリ海軍艦政本部長(航空兵器修理用材料ニ關シテハ海軍航空本部長)ノ定ムル金額以內ニ於テ之ヲ供給スルモノトス
- 三 供給材料ノ種類ニ關シテハ概ネ昭和十二年度出師準備計畫ニ依ル但シ海軍艦政本部長又ハ海軍航空本

部長ノ指示スルモノハ之ニ依ル

- 四 本材料ノ供給整理ニ關シテハ昭和三年官房第四二三八號左記第三號及昭和二年官房第一五〇一號左記第二號ニ依ル但シ本材料ノ取扱主任ハ工作長、整備長、機關長又ハ此等ノ職務ヲ執行スル乘組士官トス

## ○通 牒

官房第五五二三號ノ二

昭和十二年十月三十日

海 軍 省 副 官

- 一、要目發表範圍  
機 種 九五式水上偵察機
- 報國第一四六號(滋賀號)飛行機要目  
發表範圍及寫眞撮影ニ關スル件通牒  
首題ノ件ニ關シテハ當分ノ間概ネ左記ニ據ルコトト御  
了相成度

海軍公報(部内限) 第二千七百五十三號

昭和十二年十月三十日

一〇五九

座席 複葉三座(二人乗)  
 全幅 一一・〇米  
 全長 八・五米  
 全高 四・〇米  
 二、寫眞(活動寫眞ヲ含ム)  
 (一) 要目及機構ノ詳細ヲ窺知シ得ザル方向及距離ヨリ撮影ノコト  
 (二) 機體ノ外貌ハ差支ナシ

經豫機密第三號ノ一〇  
 昭和十二年十月二十日

海軍省經理局長

各廳長殿

第三艦隊、第四艦隊及支那方面艦隊ノ

艦船部隊ノ經費ニ關スル件通牒

本年十月二十日官房機密第四三〇七號ノ第三艦隊、第四艦隊及支那方面艦隊ノ艦船部隊ノ經費ハ自今部内限支那方面艦隊經費ト略稱スルコトニ定メラレ候

艦本機密第一八四一〇號

昭和十二年十月三十日

海軍艦政本部長

各海軍工廠長殿  
 各要港部工作部長殿  
 特設艦船ニ造船造兵修理用材料供給ノ件通牒

本年官房機密第四四七四號首題ノ件ニ關シ左記ノ如ク定ム

記

一 修理用材料年度供給額ハ左ノ豫算額以内トス

種別	金屬材料			金屬材料以外 ノ修理材料
	船體	機關	兵器	
特設水上機母艦	三〇〇 <sup>四</sup>	五五〇 <sup>四</sup>	三五〇 <sup>四</sup>	一〇〇 <sup>四</sup>
特設砲艦	七〇	一四〇	一五〇	

一 艇隊等ヲ編制スルモノニ在リテハ隻數ニ從ヒ其ノ合計豫算額トス  
 二 各特設艦船ハ本表金額ノ範圍内ニ於テ適宜所要材料ヲ海軍工作廳ニ請求スルモノトス

三 電氣修理用材料ノ供給品ヲ左ノ如ク定ム  
 二 式受金用絶緣環、油引布管、絶緣絹帶、絶緣塗料、

布入護謄帶、瓦斯テープ、フェノール持脂絶縁物絹  
卷銅線、木綿卷銅線、縛帶線、麻帆布、螺子、軸承  
用グリース、其ノ他特ニ必要ト認ムルモノ  
三 本經費ハ一般配付豫算ヲ以テ支辨スルモノトス

佐軍需機密兵第三四五一號

昭和十二年十月十一日

佐世保海軍軍需部

關係各部(艦)御中

兵器經理ニ關スル件照會

支那事變中首題ニ關シ之ガ整理ヲ迅速確實ナラシムル  
爲左記ノ通り處理相成度

記

一、兵器供給(補給彈藥類ヲ除ク)ニ關シ  
受給艦船部隊ヨリ豫メ請求票、領收票ヲ送付シ難キ  
場合首題目的達成上便宜當部ニ於テ請求票、領收票  
ヲ作製シ當該艦船部隊ニ送付シ居ルモ未ダ兵備品取  
扱主任ノ記名捺印ノ上返送ナク未整理ノ儘トナリ居  
ル向多キニ付既送付ノモノニ對シテハ速カニ又爾今  
送付ノモノニ對シテハ其ノ都度記名捺印ノ上返送サ  
レ度(從來及將來共途中遅延紛失ノ爲延着未着ノモ

ノアル場合ハ受給兵器ニ對シ荷造票ニ照シ各艦船部  
隊ニテ作製ノ上速カニ送付アリ度)

二、補給彈藥類ノ供給ニ關シ

各艦船部隊宛ノ配給豫定ヲ附セズシテ各司令部一括  
送付スル彈藥類ハ司令部ニ於テ一括處理(領收及消  
耗報告)スルカ又ハ各艦船部隊毎ニ供給整理ヲ行ハ  
レ度尙此ノ場合ハ左ノ通處理サレ度

(イ) 當該司令部ハ自己ノ配給計畫ニ基キ別紙様式ノ  
配給調書ヲ作製シ當部並ニ所要ノ向ニ送付ス

(ロ) 當該司令部ハ受給各艦船部隊ヨリ請求票、領收  
票ヲ徴シ逐次速カニ當部へ送付ス

(ハ) 上海供給所其ノ他ニ於テ受託シ配給ニ當リシ場  
合ハ同所ニ於テ前號ノ處理ニ當ル

三、兵器相互請求(兵器經理規程第二十四條參照)  
ニ關シ

供給艦當該兵備品取扱主任ハ現品引渡ノ際受給艦當  
該取扱主任ヨリ請求票、領收票ヲ徴シ供給艦船取扱  
主任ノ還納票ヲ添付シ供給艦所屬ノ兵備品會計官吏  
ニ送付サレ度

四、前記第一、二、三號ニ於テ佐世保所管外ノ艦船部  
隊ハ漏ナク請求票ハ二通送付サレ度

海軍公報(部内限)第二千七百五十三號

昭和十二年十月三十日

一〇六一

(兵備品會計規程第二十一條参照)

(別紙)

昭和 年 月 日

司令部 名 (供給所)

佐世保海軍軍需部御中  
補給彈藥配給調書

配給 月日	品名 稱	數量	輸送艦 船名	同上 月日	到着 記	事

備考

配給未済品ハ其ノ豫定配給先ヲ記入シ同月日欄ニ「某日豫定」又ハ「未定」ト明記ノコト

○ 辭 令

海軍主計大佐 加藤 信夫  
第三艦隊主任出納官吏ヲ免シ支那方面艦隊主任出納官吏ヲ命ス

(各通)

海軍主計少佐 藤原 一二  
海軍事務官 兒島 綱彦  
第三艦隊主任出納官吏ヲ免シ支那方面艦隊主任出納官吏ヲ命ス(以上計部海軍省經理局支出官)

海軍機關大佐 中村 止  
海軍航空本部技術部第二課長海軍大佐長谷川喜二著任迄同職代理ヲ命シ置キタル處之ヲ差免ス(計部海軍航空本部長)

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更  
第十四驅逐隊司令ハ昨二十九日司令驅逐艦ヲ一時菊ヨリ萩ニ變更セリ

○郵便物發送先  
軍艦鈴谷宛  
自今

吳

○艦船所在

指<sup>△</sup>定<sup>△</sup>ヲ<sup>△</sup>要<sup>△</sup>セ<sup>△</sup>ズ

○十月三十日午前十時調

【横須賀】

對馬<sup>△</sup>、愛宕<sup>△</sup>、那珂<sup>△</sup>、阿武隈<sup>△</sup>、大鯨<sup>△</sup>  
八雲、山城、春日

沖風<sup>△</sup>、峯風<sup>△</sup>、羽風<sup>△</sup>、秋風

伊二<sup>△</sup>

富士<sup>△</sup>、尻矢、膠州

(鈴谷)、(劍崎)、(高崎)<sup>△</sup>

【長浦】

太刀風

呂五四、呂五五、呂五六、呂五七、呂五八、  
呂五九、伊七、伊二四、伊二三

【館山】

澤風<sup>△</sup>

【大湊】

神風、野風、波風、沼風

【函館】

帆風

大泊<sup>△</sup>

【吳】

矢矧、韓崎、比叡、最上、扶桑、伊勢、  
衣笠、青葉、長鯨

夕顔、戸薄、葛、矢風

呂五一、呂五三、呂二六、呂二七、  
呂二八、伊五一、伊七一、呂三三、  
呂三四、伊五三、伊五四、伊五七、  
伊五六、伊五八、伊二二、伊五五

攝津

(蒼龍)<sup>△</sup>、(千歲)<sup>△</sup>

【大阪】

古鷹<sup>△</sup>

【神戸】

(滿潮)、(山雲)<sup>△</sup>  
伊七二、伊七三

【相生】

(熊野)、(荒潮)、(伊八)、(伊七五)<sup>△</sup>  
石廊<sup>△</sup>

【因島】

藤<sup>△</sup>

【江田内】

平戸、淺間

【徳山】

伊二一

【舞鶴】

吾妻<sup>△</sup>  
伊五二

【佐世保】

(大潮)<sup>△</sup>  
赤城、加古、長良、金剛、磐手、常磐、  
鳳翔、淀、名取、加賀

梨、竹、榎、桃、柳、檜、董、蓼、  
菱、蓬、夕風、朝風、文月、水無月、  
長月、草月、卯月、時雨、白露、山風、  
海風、江風、涼風、朝潮、島風、夕風、  
灘風、汐風、白雪

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、  
呂六一、呂六二、呂六四、呂六三、  
呂六八、伊五九、伊六〇、伊六三、  
呂六七、呂六五、呂六六

敷島、鳴戸、佐多、知床

(夏雲) (伊七四) ▲

【寺島水道】▽五十鈴

▽伊一、伊三、▽伊六、伊四、伊五

【八代海】▽霧島、榛名

【長崎】三隈 ▲

【橋】▽陸奥、長門、日向

【基隆】

遶 襟裳

【鎮海】▽葦、楡

【ボナベ】洲埼

【作業地】▽出雲、嚴島、▽安宅、八重山、嵯峨、鳥羽

勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、

駒橋、白鷹、▽沖島、▽北上、▽妙高、多摩

▽足柄、▽天龍、龍田、▽木曾、▽夕張

▽能登呂、神威、▽由良、鬼怒、龍驤、▽高雄

摩耶、鳥海、▽羽黑、那智、▽神通、▽迅鯨

勝力、▽川内、大井

栗、梅、蓮、▽望月、菊月、夕月、三日月、

▽響、雷、電、▽初雪、吹雪、▽曉、狹霧、

▽若竹、吳竹、早苗、▽芙蓉、▽刈萱、朝顔、

▽疾風、追風、▽萩、菊、葵、▽松風、朝風、

旗風、春風、▽臘、曙、潮、▽天霧、夕霧、

朝霧、▽綾波、浦波、磯波、敷波、▽夕立、

村雨、五月雨、春雨、有明、夕暮、▽初霜、

子日、若葉、初春、▽彌生、▽睦月、如月、柿

【航海中】

球磨 (二十八日吳發—佐世保へ)

▽伊六八、伊六九、伊七〇、▽伊六一、

伊六二、伊六四、▽伊六五、伊六六、

伊六七

▽鴻、隼、鵠、鵬、▽千鳥、初雁、友鶴、真鶴、

▽雄、鷲、雁、鳩

▽掃六、掃五、掃一、掃三、掃四、掃二、

▽掃一六、掃一四、掃二三、掃一五、掃一七、

掃一八

朝日、室戸、間宮、隠戸、野島、早鞆